

令和7年3月11日  
環境部みどり推進課

こどもの森整備基本計画（令和6年度改定）（素案）に寄せられた意見と  
区の考え方について

## 1 意見の受付状況

### (1) 意見募集期間

令和6年12月11日（水）～令和7年1月15日（水）まで

### (2) 周知方法

ア ねりま区報（12月11日号）への掲載

イ 区ホームページへの掲載

ウ 区民情報ひろば、区民事務所（練馬を除く）、図書館（南大泉図書館分室を除く）  
みどり推進課、みどり推進課所管施設での閲覧

エ 区立小中学校の児童・生徒用タブレットパソコンの「ブックマーク」から閲覧

オ 児童館での閲覧

カ こどもの森でのパネル展示

### (3) 意見件数

52件（27名）うち子どもからの意見は29件（22名）

## 2 寄せられた意見の内訳（ ）内の数値は子どもからの意見

項目	件数
計画全体に関すること	3（3）
1 整備基本計画改定にあたって	0
2 整備の考え方と方針	4（1）
3 羽沢緑地の整備基本計画	36（21）
4 管理運営の考え方	6（2）
その他	3（2）
合計	52（29）

3 寄せられた意見に対する対応状況 ( ) 内の数値は子どもからの意見

対応区分	件数
◎ 意見の趣旨を踏まえ計画に反映するもの	1 (1)
○ 素案に趣旨を掲載しているもの	33 (19)
□ 素案に記載はないが他の施策・事業等ですでに実施しているもの	1 (1)
△ 事業実施等の際に検討するもの	12 (4)
※ 趣旨を反映できないもの	0
— その他、上記以外のもの	5 (4)
合計	52 (29)

#### 4 寄せられた意見（要旨）と区の考え方

番号	意見の概要	区の考え方	対応区分
2 整備の考え方と方針			
1	<p>広くなるのは嬉しいが、何もない空間で子供が自由に考えながら遊べる空間を大切にしてほしい。遊具は必要なく、道具を使い自分達で考えて動けばいい。</p>	<p>ご意見のとおり、こどもの森は、子どもたちの「創造的な遊び」、「自由な発想で遊べる場」を整備テーマとして大切にしています。遊びのきっかけをつくるために、最小限必要なものだけを用意します。</p>	○
2	<p>こどもの森は多様な人とコミュニケーションが取れ、都会では難しい体験ができる素晴らしい場所だと思う。</p> <p>是非、様々な人が、人間生活がどのように成り立っているかをさらに、学べるような場所にしてもらいたい。</p>	<p>こどもの森は、「子どもたちと地域の大人たちの世代間交流の場・機会の創出」を整備テーマの一つとしており、イベントや農園など、地域の方にご協力いただいで運営を行っています。拡張にあたっては、屋根付交流広場や収穫物の調理設備、木工作のできる工房を整備するなど、子ども同士や地域住民同士の交流体験をさらに充実していきます。</p>	○
3	<p>近年は、世代間の分断（交流経験が少ないゆえに起こる、違う世代への理解の乏しさ、配慮の少なさ）が起こっている。自然の中で同じひと時を過ごす際に、そこに集った人にコミュニケーションが生まれ、職業や世代とは無関係の相互理解が深まり、地域の活性化につながる場となることを望みます。</p>	<p>こどもの森は、「子どもたちと地域の大人たちの世代間交流の場・機会の創出」を整備テーマの一つとしており、イベントや農園など、地域の方にご協力いただいで運営を行っています。拡張にあたっては、屋根付交流広場や収穫物の調理設備、木工作のできる工房を整備するなど、子ども同士や地域住民同士の交流体験をさらに充実していきます。</p>	○

3 羽沢緑地の整備基本計画			
4	子供たちの遊び場が広がるのは良いと思う。特に秘密基地が作れるスペースは広い方が子供たちのアイデアが増すと思う。	新たに整備する冒険ゾーンは、子どもが自らの力でツリーハウスや秘密基地などを創意工夫しながら作ることでできる場とします。	○
5	出入口以外からこどもの森に出入りができないように、住宅や道路側への垣根やフェンスを設置してほしい。環七に抜ける道路(コンビニエンスストアの前の道路)側には出入口を作らないでほしい。また規模が大きくなると出入口から子どもを見つけにくくなるので、出入口は最小限に抑えてほしい。	こどもの森では、プレーリーダーが利用者の出入りを管理・把握できるよう、出入口の数を最小限にした上で、周囲をフェンスで囲む形態としています。 拡張整備にあたっては、同様の考え方で整備するものとし、新たに設置する出入口については、道路への飛び出し防止など、利用者の安全を第一に検討します。	△
6	冒険ゾーンから自然体験ゾーンへは道路を挟んでいるため、道路を横断する子供がたくさん出るのではないかと心配だ。横断歩道か歩道橋を整備した方が良い。	こどもの森の拡張整備に合わせて、利用者の安全対策を関係機関と協議していきます。	△
7	屋内の場所(将棋やかるたなど、伝統的な遊びをする場所)が小さくても欲しい。	地域の人が集い交流できる場として、夏の暑さ対策や雨天時の遊び場としての機能も備えた屋根付交流広場を整備します。	△

8	絵本や図鑑、児童図書を寄贈できる場があるといい。自由に本を読める読書スペースなど、雨の日でもこどもの森を積極的に利用できる場がほしい。	こどもの森では、図鑑や着替え用の洋服など、運営上必要なものを地域のみなさんから提供いただくなど、様々な地域の協力のもと運営しています。 地域の人が集い交流できる場として、夏の暑さ対策や雨天時の遊び場としての機能も備えた屋根付交流広場を整備します。	○
9	オムツ交換スペース&授乳スペースを整備してほしい(今のトイレは狭い)。	現在、トイレや赤ちゃんスポットが不足しています。冒険ゾーンに新たに整備する主管理棟に整備します。	○
10	トイレの数を増やしてほしい。		
11	温かい水で手足をあらえるようにしてほしい。	こどもの森の整備コンセプトや利用実態等を踏まえ、今後検討していきます。	△
12	農地を拡張してほしい。	既存農地を活用し、農園ゾーンを整備し、こどもり農園を移転・拡張します。	○
13	料理スペースを整備してほしい(キャンプでやるような薪や炭のできる場所だとなお良い)。	移転・拡張するこどもり農園で収穫する作物を調理できる設備を整備します。なお、薪や炭による調理については、近隣への影響等を踏まえ、運営の中で検討していきます。	○

14	畑の野菜を簡単調理(ゆでる、塩もみ等)して、その場で食べたい。	収穫した野菜をその場で食べることは、獲れたて野菜のおいしさや、達成感を感じるなど食育にもつながることから、拡張整備に合わせてこども農園を充実していきます。	○
15	できるだけ樹木は残してほしい。	拡張整備にあたっては、可能な限り既存の樹林や農地を残します。	○
16	樹木の長期的な成長とともに林そして森が形成される様子を体験でき、また、ビオトープのようにさまざまな生きものの循環が成立する場であってほしい。木、土、水の面積が増えることで、ヒートアイランド現象にも高い効果を発揮することとなってほしい。	自然体験や遊びを通して、みどりの豊かさや価値を実感するとともに、みどりの保全と創出に向けた意識を高める場を目指します。	
17	駐車場があると、駐車待ちの渋滞やアイドリングなどの問題が懸念されるため、駐車場は設置しないでほしい。どうしても設置する場合は必要な方への予約制、幼稚園や学校などの校外学習利用のみなどにして欲しい。	拡張整備にあたっては、幼稚園などの団体利用者向けの駐車スペースを整備します。アイドリング等で近隣のみなさんにご迷惑とならないように運営していきます。	○
18	近隣に増えている高齢者施設のグループの外出先にもなるよう、多めの車椅子の駐車場やスロープ、手すり、ベンチ、日除け雨よけの屋根を設けてほしい。	拡張するエリアは、練馬区の福祉のまちづくり推進条例に基づき、車いすの方や高齢者の方でも利用しやすい空間として整備します。 また、夏の暑さ対策や雨天時の遊び場としての機能も備えた屋根付交流広場を整備します。	○

4 管理運営の考え方			
19	<p>広くなる分、スタッフの数の増援が必要になるのではないか。</p>	<p>管理運営に必要な人員体制を検討し、見直しを行っていきます。</p>	△
20	<p>定期的にこどもの森に土を追加しているが、追加する分だけ周りに砂が散っている。強風時に砂ぼこりが舞い散らないよう対策をしてほしい。また来園者の昼食ごみやおやつゴミが周囲に飛び散らないようゴミ持ち帰りの周知をしてほしい。</p>	<p>強風時における砂ぼこりについては、散水や植栽等により発生抑制に努めていますが、一定発生しています。拡張にあたっては、草地の整備など、近隣への影響を緩和するよう対策を検討していきます。</p> <p>また、こどもの森では、ごみは持ち帰りを原則としています。今後も周知徹底していきます。</p>	△
21	<p>図書館で行われている小学生向けの講師を招いての実験や体験イベントを屋外でもやってほしい。またフリーマーケット(無料の寄贈)をやってほしい。</p>	<p>現在、小竹図書館による出前青空紙しばいを実施しています。引き続き、連携の強化を検討していきます。様々なイベントの開催については、運営の中で検討し、充実に努めていきます。</p>	△
22	<p>自販機は置かないでほしい。</p>	<p>現在、自動販売機の設置の予定はありません。整備コンセプトを踏まえ、必要に応じて検討していきます。</p>	△

その他			
23	<p>徒歩圏内に図書館がないので、返却や予約の受け取りだけでもできるような窓口があればいい。</p>	<p>区では、図書館を概ね半径1km以内に1か所整備し、12館と1分室を設置するとともに、6か所の図書館資料受取窓口を設置しています。こどもの森から概ね1Km圏内には、小竹図書館があるため、当該地域に図書館資料受取窓口を設置する予定はありません。</p>	—

### 5 子どもから寄せられた意見（要旨）と区の考え方

ばんごう 番号	いけん がいよう 意見の概要	く かんが かつ 区の考え方	たいおう 対応 くぶん 区分
けいかく ぜんたい かん 計画全体に関すること			
1	<p>むかし あそ 昔はたまに遊ぶことがあったのですが、ここ数年は遊んでいなくて、また今度遊びに行こうと思えます。また、計画の後、とても楽しみです。</p>	<p>こどものもり なか あそ こどもの森は、みどりの中で遊びながら、みどりを大切にする気持ちを持ってもらうことをめざ 目指しています。 ぜひ、こどものもり あそ き ぜひ、こどもの森に遊びに来て</p>	—
2	<p>こ もり い あそ こどもの森は行って遊んだこと けいかく み い があり、計画を見て、また行ってみたい たいです。</p>	<p>ください。</p>	—

3	<p>そもそも子どもの森を広げる必要があるのか。私は子どもの森に行ったことがなく、この案を見て知った。ここにどれだけの人が来ているか知らないが、まずは紹介をするべきではないか。私は区報を必ず見ているが子どもの森の記事をあまり見ない。</p>	<p>子どもの森には年間約3万人の人がおとずれています。みなさんからツリーハウスや日よけ雨よけの屋根、畑を広げてほしいなど、たくさんの意見をいただいています。これらを実現するために子どもの森を広げることにしました。</p> <p>子どもの森のことを、たくさんの人に知ってもらい、来てもらいたいと考えています。日々のできごとや、イベントの情報をホームページやSNSでお知らせしたり、近くの小中学校にイベントのチラシなども配っています。</p> <p>今後は、区内の児童館などでも子どもの森を知ってもらう機会を増やすなど、たくさんの人に来てもらえるように取り組んでいきます。</p>	□
<p>2 整備の考え方と方針</p>			
4	<p>自分の家は氷川台から遠いのでもっと色々な所に設置してほしい。</p>	<p>他の場所での、新しい子どもの森の整備については、この子どもの森や、区内の他の公園の整備の進み具合などと合わせて考えていきます。</p>	△

3 羽沢緑地の整備基本計画			
5	木のぼりがしたい。	<p>こどもの森の遊具は、遊びのきっかけをつくるために、最小限のものだけを用意しており、自分たちのアイデアや工夫で形にしていく場所です。何かやりたい、ほしいと思います。用意している材料を活かして、こどもの森にいるプレーリーダーに相談しながら、みなさんと工夫して遊びましょう。</p>	○
6	すべり台やぶらんこがほしい。		
7	シーソーがほしい。		
8	てつぼうがほしい。		
9	うんていがほしい。		
10	アスレチックがほしい。		
11	プールがほしい。		
12	池がほしい。		
13	たきがほしい。		
14	サバイバルゲームがやりたい。		
15	10月31日(ハロウィン)にハロウィンイベントをしてほしい。		
16	ツリーハウスがほしい。	<p>冒険ゾーンに、様々な遊びにチャレンジできたり、みんなの力で工夫して作ってみたり、みんなに愛され、地域のシンボルになるようなツリーハウスを整備します。</p>	○
17	ツリーハウスはこどもが自由に作りたい。	<p>みんなで考えて力を合わせて物を作ることはとても大切です。みんなが主役になって、自由に作ることができるツリーハウスということがわかりやすくなるように、計画に書き加えます。</p>	◎
18	ツリーハウスをもっと高くしてほしい。	<p>高いところが得意な人、苦手な人、いろいろな人がいます。みんなで見え出し合いながら、こどもの森にふさわしいツリーハウスを作りましょう。</p>	△

19	もりみたいなばしょがほしい。	いま もり まも 今ある森を守って、みどりのなか い 生きものかんさつ しぜんたいけん 観察や自然体験ができる しぜんたいけん 自然体験ゾーンをつく を作ります。	○
20	かなへびをいっぱいとれるところがあるといい。		
21	むしとりをして、いろいろないきものにあいたい。		
22	レモンののうえん つく 農園を作ってほしい。	こどものもりには、みんなではたけ たがやしたり、やさい そだ 野菜を育てたりする のうえん こんかい せいび 農園があります。今回の整備 では、もともとはたけ りよう 畑を利用して、こど のうえん ぼしょ うつ おお もり農園の場所を移し、大きくしま す。大きくなったこどもりのうえん う 農園で、植 えりま だいこん ねりま大根をつくってほしい。いっしょ かんが えると一緒に考え ていきます。	○
23	いちごをう 植えてほしい。		
24	バナナをう 植えてほしい。		
25	ねりま だいこん 大根をつくってほしい。		
4 かん りうんえい かんが かた 管理運営の考え方			
26	たきび 火を大きくしてほしい。	たきび から で けむり 煙やにおいはちか くにす 住んでいる人たちにめいわく 迷惑を かけてしまうことから、あらかじめ ようび 曜日 やじかん 時間をお知らせしてからおこな 行っ ています。	△
27	いつもたきび 火をやりたい。		
		たきび おお 火を大きくしたり、いつでもで きるようにしたりするには、こどもの もり ちか す 森の近くに住んでいる人たちの いけん き 意見を聞きながらかんが 考えていきます。	

